

65期 環境レポート

— 今わたしたちに出来ること —



FUJITA

株式
会社

新潟藤田組

1. 環境方針

株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

1. 当社の事業運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1)二酸化炭素排出量の削減
 - (2)資源のリサイクルや節約
 - (3)環境美化活動の実施
 - (4)法令遵守
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2010年9月1日
株式会社 新潟藤田組
取締役社長 藤田直也

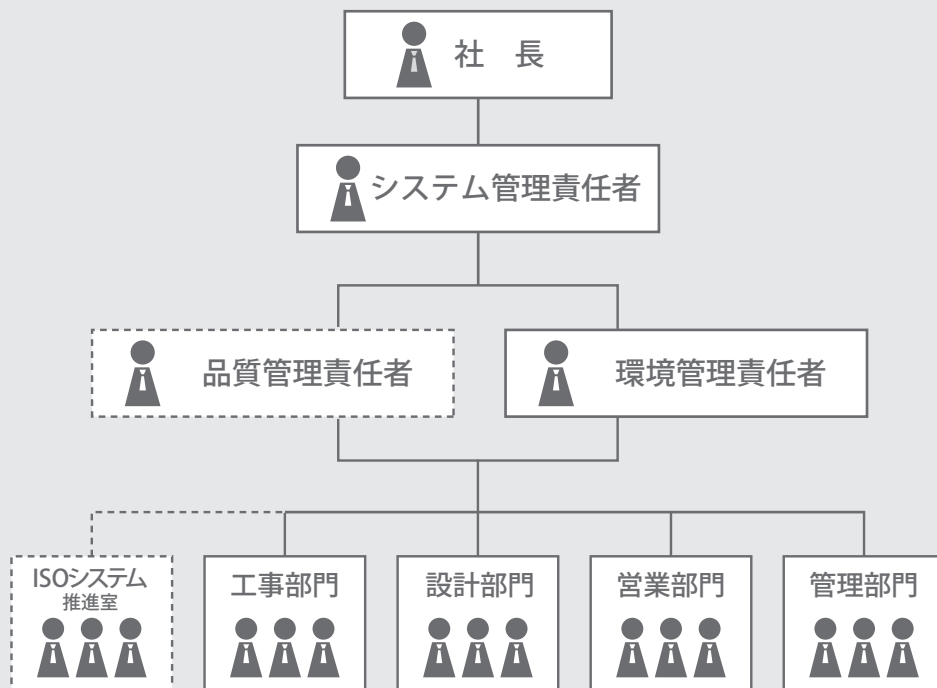
2. 企業概要・取り組み体制

● 企業概要

社名：株式会社新潟藤田組
 代表者：取締役社長 藤田 直也
 所在地：新潟県新潟市中央区白山浦 2-6 4 5-1
 電話：025-266-1166
 資本金：9000万円
 従業員数：86名(平成26年4月現在)
 創業：大正14年10月

● 環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



3. 事業における環境活動

● Plan (計画)

■ 方針にもとづき以下の目標に向かって取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 資源の節約
工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする
- ③ 美化活動の実施
美化活動の定例実施
- ④ 法令遵守
環境法令遵守

● Action (見直し)

■ 見直し、改善を図ります。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 資源の節約
工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする
- ③ 美化活動
昨年同様に実施
- ④ 法令遵守
昨年同様に違反等皆無にする

● Check (点検)

■ 目標と実績とを比較します。

対象期間
25年3月1日～26年2月28日

- 二酸化炭素排出量
二重窓の設置、高効率照明設備導入等により前年度実績より6,331kwh削減
- コピー用紙の使用量
完成工事高/使用枚数比で前年度実績より0.000095削減
- 美化活動
美化活動の定例実施
実績：白山駅前・近隣公園のゴミ拾い、アダプト活動の実施
緑化コンクール優秀賞
- 法令遵守
環境法令遵守の確認
実績：環境法令の違反等なし

● Do (実行)

■ 具体的な取り組み事項

- ① 二酸化炭素削減の取り組み
 - ・ 発電設備等
太陽光発電設備の活用
 - ・ 空調設備・運用等
本社二重窓の設置
グリーンカーテンの実施
クールビズ・冷暖房のこまめなオンオフ・業務の効率化による節電
空調設定を温度湿度で管理する
冷房28℃以上、暖房21℃以下(厳冬期24℃以下)
ドライ湿度80%以上、風力(弱)での運用
 - ・ 照明設備・運用等
高効率照明設備の活用
単独スイッチの活用
こまめな消灯・業務の効率化による節電
 - ・ 車両選定・運用等
低燃費車への入替
ハイブリット車でのガソリン使用量の削減
アイドリングストップの実施
燃費向上運転の指導・心がけ
冷暖房の使用状況改善
車載品の見直し
 - ・ その他
啓発掲示物等の掲示
- ② 資源の節約への取り組み
 - ・ コピーFAXの運用等
両面印刷、裏紙印刷によるコピー用紙の削減
ミスコピー撲滅運動実施
電子化・ペーパーレス化の推進
 - ・ その他
啓発掲示物等の掲示
 - ・ 資源の有効活用等
ゴミの完全分別実施
- ③ 美化活動の実施
 - ・ 本社周辺及びキング公園の日々のゴミ拾い、維持管理の実施(冬期及び悪天候日を除く)
 - ・ 緑化コンクールへの参加
- ④ 法令遵守への取り組み
 - ・ すべての作業所で環境法令を遵守する
施工前の討論会での確認
担当者による遵守状況の確認
- ⑤ 著しい環境側面への対策
 - ・ 消火設備の点検管理と緊急時の対応・対策訓練の実施

4. CO²排出量チェックシート(65期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・上越(営)・西蒲(営)

● 電気・ガソリン使用量

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標 (前期-当期目標)	削減量実績 (前期-当期)
電気	86,444 kwh	86,444 kwh	80,113 kwh	0 kwh	6,331 kwh
ガソリン (社有車)	-	※1	16.87 km	-	-

※1 ガソリン使用量については、算出基礎を変更し、1Lあたりの走行距離(全社平均)の延長を目標としていく。
65期よりデータ収集を行い、1Lあたりの走行距離の現状を把握する。

● その他環境に影響するもの

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標 (前期-当期目標)	削減量実績 (前期-当期)
コピー用紙 (A4換算)	497,000 枚	※2	658,000 枚	-	-
	0.000212	※2 0.000212	※3 0.000117	0.000000	0.000095

※2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の0.000212以下にする。
前年実績(0.000212)=使用枚数(497,000枚)÷完成工事高(2,337,000,000円)

※3 当期実績(0.000117)=使用枚数(658,000枚)÷完成工事高(5,599,000,000円)

5. 65期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・上越(営)・西蒲(営)

● 電気・ガス・ガソリン

□ 電気

前期より 6,331kwh 減。

具体的な施策では、啓発掲示物の設置、二重窓の設置、高効率照明設備の導入、クールビズ・こまめな消灯・業務の効率化による節電、太陽光発電の活用等。

□ ガソリン

当期実績は 16.87km/L。

算出基礎を変更。1Lあたりの走行距離(全社平均)の延長を目標とする為、走行距離の現状を把握した。今後、前期実績より2%向上を目指す。具体的な施策では、省エネ運転の心がけ、アイドリングストップ活動の実施、省エネ車への入替え等。

● その他環境に影響するもの

□ コピー用紙

当期実績 0.000117(=使用枚数 ÷ 完成工事高)。

算出基礎を変更。完成工事高と使用枚数比を前期実績の0.000212以下を目標として、当期実績 0.000117 を達成。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

・ ゴミの完全分別 (本社)

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等(ダンボール・可燃ごみ・シュレッダー)。

・ 環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。
アダプトプログラムの実施等。